

忍ヒ難キヲ忍ヒ以テ萬世ノ為ニ太平ヲ開カムト欲ス朕ハ茲ニ國體ヲ護持シ得テ

下線部分は条件降伏を示す。ボツダム宣言受諾は無条件降伏ではない事がこれで解る。尚、詔書には濁音、半濁音、段落、句読点などは使われない。

昭和20年8月14日の終戦の詔書の一節。

國の支之

(中井信夫元大阪府議會議長・95才)

関西防衛を支える会 (略称・関防会)

〒542-0081 大阪市中央区南船場3-11-10 心齋橋太陽ビル7階
TEL 06-6241-1124
発行人 高橋季義
編集人 新川貞敏
印刷所 (株)新聞印刷

第20号

(秋季号)

平成16年10月1日(金)

(皇紀2664年)

(大正紀元93年)

(昭和紀元79年)

陸・海・空防大七期

国防放談会

出席者

- 佐々木英嗣 (元統合幕僚学校長・陸将)
- 村田 秀信 (元沖縄第一混成団々長・陸将補)
- 山本 安正 (元海上幕僚長・海将)
- 平賀源太郎 (元潜水艦隊司令官・海将)
- 佐藤 守 (元南西航空混成団司令官・空将)

司会…新川貞敏(編集人)

司会：本日は御忙しいところ御参集頂き有り難う御座います。私は皆様方と年齢が一緒なので時代背景を共有するものです。昭和四年の防大御入学ですが、戦後十年余、ようやく社会が落ち着いて来た頃ですが、当時は自衛隊へ税金泥棒などの非難中傷が盛んでした。そのような時代に防衛大学を志願された理由をお聞かせ願います。まず山本さんからお願いします。

山本：私の場合は単純でしてね、親父が陸軍の職業軍人だった関係で、自然と防大志望となったと言っただけです。

司会：佐々木さんはどうですか。

佐々木：私は福井県の藤島高校ですが、高校三年の夏に青山さんと一緒防大五期の先輩が白の制服を着て学校に来られたのです。私はそれまで防大を知らなかったのですが三年生の有志が裁縫室に集められて防大とは「男の中の男の学校だ、おまえら男なら防大に來い」とPRされたのです。田舎の学校ですが、この七期生として藤島高校から十五名入学して全国第三位の入学者数でした。先輩のPR活動が私の志望動機です。

司会：海軍兵学校のような勧誘方法ですね、村田さんはどうでしたか。

村田：私の場合、お袋の弟が警察予備隊の二期生でして、この叔父が防大に「チャレンジしてみろ」と言っただけです。

平賀：私の場合は二つの要因があります。一つは父が海軍兵学校の英語の教授だったので、海軍と言っただけで、海軍の学校へ行くと小さい頃から教育を受けていた事と、一つは佐々木君が言いましたように防大の五期生の先輩が夏休みなどに制服を着て我が家に遊びに来て、「これからは国防が大事になる、防大は良いぞ、特に海上自衛隊は良いぞ」と話していただきました。そのような影響もあり防大に入学しました。

李ラインの悔しさ

佐藤：私は福岡に居りまして、子供のころから飛行機が好きで、飛行機製作に携わっていたので九大の航空工学を志望したのですが見事に滑りまして、一年浪人したのですが、その時、高校の先生が「お前、航空工学は募集が少ないし、日本は飛行機は作らんとよ、法学部か理学部に行け」と言っただけです。

司会：防大の中で、海を志望された理由を山本さんお聞かせ下さい。

青春を謳歌した学生時代

山本：私は初めは、ジェットファイターを志望していたのですが、父の友人達が飛行機乗りにはなるな、海軍の艦爆乗りは急降下などで血液が逆流して四十才くらいで顔は六十才くらいになる、と脅かされてね。しかし、何いってんだと若気のいたりで反発してましたよ。

司会：防大の中で、海を志望された理由を山本さんお聞かせ下さい。

山本：防大の中で、パイロットの適性検査を持っていたので航空自衛隊を希望していましたが、しだいに海へへとチェンジマインドしてきて、海上自衛隊に入ったわけですね。

司会：佐々木さんはどうですか。

佐々木：当時、視力が0.8以上が防大の入学資格だったんです。私はギリギリの0.8だったんです。部長が心配してくれてね、身体検査場まで来て色々とアドバイスしてくれました。だから私は最初から何の迷いも無く陸上自衛隊を志望しました。

佐藤：京都大学合格を蹴って来たんだらう。

佐々木：うん、だから眼で落ちたら仕方ないから京都大学に行こうと考えていたよ。

司会：村田さんはどうですか。

村田：私の場合も佐々木君と同じで乱視で視力が悪かったんです。学科を通して身体検査で、横校長(横智雄初代校長・十二年間在任)が巡回で見えなかつたら私のグループは不合格だっただらうね。横校長が検査官三名ほどに何か話していただいて、それで合格になりました。

司会：平賀さんの場合は防大志望の時点を海軍と言っただけですか。

平賀：そうですね。私の場合は初めから海軍の旗の下で言うか、海軍の星の下で産まれたようなもので海軍以外は考えられなかったです(ハ、ハ、ハ)と参加者全員が大爆笑する。それはそれとして、中隊指揮官が海軍出身で「お前は海上に来るんだらう」と言っただけです。初めから路線が引かれていた

うので防衛大学を受けてみようという封筒に、横須賀市防衛大学御中とだけ書いて手紙を出したら、丁寧な返事がきましてね、福岡市内に地方連絡部があり、そこに受験要項があるから、とね。地方連絡部に行きますと、既に防大から私の受験志望の連絡が入っているのです。ここでも丁寧に説明してくれました。

も一つは当時、朝鮮の初代大統領の李承晩が李ラインなるものを勝手に日本海に引いて、日本の



左から玉井、新川、佐藤、山本、平賀、村田、佐々木、前田の各氏

漁船を拿捕していた事は皆さん御承知と思いますが、これに福岡市民は切歯扼腕してました。巡視船が機関銃を撃ちながら追跡してくる韓国警備艇と逃げる漁船との間に割って入り蛇行しながら弾よけとなり日本の漁船を守っていたのです。これは悔しい、制空権がなければどうにもならない、と思いましたね。いまに至るも竹島はその時の李ラインの後遺症で韓国に占領されているのです。

よし、自衛隊に入って戦闘機乗りになり李承晩の船を撃沈してやる、と思っただけです。このような経緯で迷う事なく防衛大学に決めたのです。

が、呉の潜水艦基地に見学に行った時に基地隊の副長で自稱、帝国海軍中佐の高橋真吾氏が我々学生を前にして「これからは海中が戦いの中心になる、海上に浮かぶ艦船はすべて薄皮と化す」と言われる訳です。これが強烈な印象として残り、見学の帰りに指導教官に是非、潜水艦に行きたいと言ったわけですね。それがトリガーになって潜水艦に行っただけです。

司会：潜水艦の適性検査は厳しいのではないですか。

平賀：潜水艦は鉄の箱とも言われるように、狭く閉鎖的環境ですので、他より協調性とか精神的な安定性とかが重要になります。そのような理由で心理的適性検査が必要なんです。狭い艦内は男だけの社会で、しかも二カ月に亘る長期の潜航訓練もあります。したがって心理適性検査は厳しくやっています。

呑む・打つ・買をやめる

司会：佐藤さんの場合も防大入学時から航空志望ですね。戦闘機操縦訓練時の苦労話等をお聞かせ下さい。

佐藤：私は申し上げましたように、航空工学でジェット戦闘機のパイロット以外はないと決めていましたから、それで三

年の時に部隊実習で、二十名、築城基地に行った訳です。そこで十名にT33ジェット練習機に乗せてくれるのですが、ジャンケンで搭乗者を決め、私は最後の十人目となったのです。喜び勇んで乗ったら、少年飛行兵出身のベテランのパイロットが「おい、佐藤君操縦してみるか」と言っただけで、ハイ、と言って操縦桿を握ると「右に旋回しろ」と言うのです。プロペラとジェットは違うんですね。操縦桿を右に倒すと回転して、何が何やら分からなくなりましたね、スパイラルして急降下するんです。煙突が煙を下に出してパニックになりましたね。やっ

と航空適性検査の要領を思い出して、何とか水平飛行に戻りましたが、胃は逆流してムカムカして、早く着陸したい、早く帰りたいと思っただけで、教官が佐藤学生は福岡の出身だが家ほどの辺だ、と言っただけです(全員が笑う) 九大の方です、と答えると「それじゃ行ってみよ」と言うのです。冷や汗をかいて今にも吐けそうなんです。今でも覚えていますが大の手術で、レシーバーに「一六四五号機早く帰って来い」と入りまして、あと数分遅かったら吐いていましたね。これではパイロットになれないなと、その時は深刻に悩みましたね。先輩から身体を鍛えておけ、と言われて、それから呑む・打つ・買をやめましたね。(皆大笑)

司会：佐々木さんはどうですか。

佐々木：防大時代はやはり運動部ですね。佐藤君と一緒に剣道部でしたが、私は経験がなくゼロからのスタートで夏休みまでは竹刀の素振りばかりでしたが、あの経験は後の人生に大きな糧として残りますね。防大時代の最大の思い出は四年間剣道部で過ごしたと言っただけです。

剣道の残心は有用か？

1面から
.....

司会：佐藤さん、剣道をやっていると、戦闘機乗りとして戦術に影響はありますか？
佐藤：私は一般的に意識した事はないのですが、教官になって解りましたが先の先を読むというアプレッショナルで、それが空中で格闘戦をする時に剣道の瞬時の判断が参考になりましたね。

司会：話が飛躍しますが、草鹿龍之介連合艦隊参謀長は剣道の無刀流・山岡鉄舟創設の達人だったとされていますが、真珠湾攻撃に第一撃を加えたまま二撃を控えたのは剣道の残心を大事にした為と言つて説がありますが、高段者の佐藤さんが指揮官として残心を大事にされた場合、戦術にマイナスを生むのでは、と感じますが、この点はどうですか？
佐藤：草鹿さんの残心は戦略の問題ではないかと思えますが、適切かどうか解りませんが私自身が残心を知り知らずには86Fで空中射撃をしていました。空中に飛んでいる標的にアプローチをして瞬時に撃つのですが、照準器が合えば瞬間に離脱するのですが、その時に振動で照準器がぶれて弾が当たらないのです。なかなか弾が当たらないので悔しい思いをしまして、それで名人・パイロットと言われた先輩方の射撃のフィルムを見て一生懸命に研究したものです。浅見さんと云われ、日航に行かれましたが、ある

引き分けを強要する政府

佐藤：私は防衛研究所で兩岸問題を研究していますが、台湾や中共のプロが聞いて来ますよ。航空自衛隊のパイロットの年間飛行訓練時間はどのくらいだ、と。二時間だ、お前のところは何時間だと聞くと二十時間だと答えますが、内心、嘘つけ、そんなにあるもんか、と思つています(全員大笑いする)。中共は二機の戦闘機を持っていて、二機も古くて危ないので僕らは百万円ももって来りませんよ。乗れるのはせいぜい、シグ二型の改良型など僅かの機種です。お前ら、沖縄まで来た俺の部下がタタキ落とすと、と言つと、イヤ先生、私らは燃料が足りませんから戻きませんと言います。彼等はプロだから解つて居るんです。
ですから、量があつても相対的なものから単純には比較できないのです。国の基礎力プラス経済力プラス周辺国の脅威の見積もりをして、完全に勝つ為にはどう整備するかです。今の政府は勝つ必要もないし、負ける必要もないと言つてプロの姿勢です。

司会：山本さん、見栄えの砲艦外交するのだから、佐藤さんの見解を聞けば両刃の剣となりませんか。国民から見れば、わが国は強大な軍事力を持つていて、鑑賞しますよ。私にすればもう少し力をつけるべきだと考えます。
佐藤：貴方は知り過ぎだから、そう考えるんですよ。
司会：山本さん、幕長の時、北鮮の工作船に逃げられた経験から尖閣諸島に中国海軍が出てきた場合どうしますかね。
山本：要するに、警察行動か防衛行動かを政府がどう判断するかです。
司会：政府は防衛行動の判断はせんでしょ。
山本：ただども向こうの海軍が出て来て、海上保安庁のみが対応してそれが世界に報道されたら世界はどい見ますかね.....

悠揚たる潜水艦

司会：平賀さん、潜水艦の場合はどうですか。戦闘機と異なり、ある意味で鈍重な行動に終始すると思えますが。
平賀：潜水艦の場合、一般的に言つて、タイミングと言つて、チャンスを探ることが大事です。チャンスは何時もある訳ではありません。機動力の無い潜水艦が千載一遇のチャンスを探るには大変な忍耐が必要となります。千載一遇のチャンスを狙つても、逆にチャンスが逃げてしまふ事もあります。潜水艦の場合には待ちの姿勢で忍耐をもちつてチャンスをつかいます。これが残心に通じるのでは、と思えますが。
司会：山本さんは駆逐艦ですが対潜水艦では「眼下の敵」のような場面もありませんか。
山本：対潜水艦戦では、残心なんて言つてられないね。下手したら「ちがやられるからね(全員、笑う)。
平賀：潜水艦にとつての天敵は駆逐艦ですからね、それに向かつて行かないで無謀ですよ。我々は駆逐艦を避けて行く見つけられないように行動するのが原理・原則ですよ(ハハハと皆さん笑う)。

時、あー残心と思つました。浅見さんのフィルムはタタタと撃ち終わった瞬間、照準器が止まっている事を確認してました。私の射撃フィルムは撃ち終わると確認しないで急いで離脱してました。これが剣道で言う残心かと思つましたね。要するに心に余裕が無いといけないのです。弾を撃つ後は怖いから急いで離脱してましたのですが名前は違ひましたね、余裕がありました。



佐々木英嗣氏

山本提督長蛇を逸す

佐藤：軍艦は出ないでしようけど調査船なんてものは海軍そのものです。潜水艦の為の海洋調査ですよ。
司会：山本さん、もうOBだから脱線して喋つてはだめだよ。
佐藤：山本の名言の為に言いますが、北鮮の工作船は逃がしたのではなく、政府が逃がせと言つたんですからね、作戦は成功したんです。山本はあの時、歴史に名を残すチャンスだったよ、あー私が撃沈せよと命令してしまつたと言つて沈めておけば。
山本：我が国の主権が侵される事態がたびたび生起して、我が国が対抗手段をとらなければどうなるか解らないよ。シチュエーションが生じた、その時は政府もやるでしよう。

ハハと皆さん笑う)。
司会：玉井(玉井秀幸海軍補七期)さんに聞くと、P3Cからソノイを投下すれば半徑三百キロの海中の潜水艦は補足出来ると言つてましたが、日本列島周囲に五十本くらいバラバラに我が国の海の防衛は可能だね。
平賀：半徑三百キロはオーバーと思つてますが、それも海水のコンディションによりよすね。特に日本近海に、親潮・黒潮など暖流・寒流の交わる海域は海流により海の中の音波は複雑屈折してしまふから、我々の視力に見るような具合にはいけません。簡単に発見されたら海軍の役割は動まらんじやないですか、だから現在も潜水艦は各国が熱心に研究している有効な攻撃武器ですよ。海洋条件などは近代科学でも解明しきれない、複雑な水中環境が存在し、それが潜水艦の隠れ蓑になるんです。
司会：今、中国が海洋調査船で尖閣諸島界隈を始め日本近海を調査していますが我が国は潜水艦を百隻ほど送り、日本海や東支那海に展開すれば安くていいのではいでしょうか。
山本：潜水艦は安くありませんよ、水上艦とほぼ同じ値段ですよ。水上艦と潜水艦とを比べると効果的と言つと、一概には言えません。戦争になったら潜水艦が有利かもしれないが、平時では眼に見えない水上艦艇が有益かも知れないが、平賀：そうだね。
山本：一九七三年頃の冷戦時代、米ノ水上艦のどちらが有利か検討した論文がよく出ました。結論はね当時のソ連の方が有利となりましたよ。



村田秀信氏

司会：私は我が政府に対して、山本さんの発言には半信半疑ですな。
山本：ハハハ(笑) 五十年間、平和憲法や自分達で作つた自衛隊を盾に、国内外に対し国家の義務を放棄して逃げまわつてきたので、政治が軍隊の効能やどう使へばか、分からなくなつて居るんです。
佐藤：まったくだよ。
山本：だけれども、国家の威信を考へる政治家もいるはずですから、さうゆう厳しいシチュエーションになったら、その時は考へるんじゃないですか。

アメリカの軍艦は居住性と電子兵器など、非常に優れていますが、それらは眼に見えないのです。一方ソ連の軍艦は大艦巨砲が目立つのです。軍事の素人は外観で判断するんです。平賀：そうだね。上甲板に何も無いような米国の軍艦は、知らない国の港に入つても相手に驚異を与えないのです。貨物船のように見られてしまふのです。
山本：その意味ではね、姿の見えない潜水艦を百隻もつのはどうかとなりませう。
司会：見栄えが良いと言つて点では戦闘機も言えるのではないですか、航空はどうですか。
佐藤：海軍とチョット違ひますが、海軍は砲艦外交の効果がありますね。山本君に怒られますが、私たちが軍事のプロから見れば水上艦艇はプラモデルのような格好の標的になるんです(笑)。しかし東南アジアの無知なオジサンから見れば大きな軍艦はワーッと驚きを与えますね。それが心理作戦なのです。
中共が軍艦に拘るのは心理的なものであり、海自と第七艦隊のいい標的ですよ。その辺の駆け引きをどうするかですよ。それから、航空戦も、どこを飛んで、何をしているのか誰も知らない訳です。知っているのはレーダーだけです。航空兵力の評価は平時の訓練・パイロットの飛行時間などプロの比較をし、更にそれを支える整備がどのくらいかの確率での稼働能力があるかですよ。

砲艦外交は健在なり

佐藤：海軍とチョット違ひますが、海軍は砲艦外交の効果がありますね。山本君に怒られますが、私たちが軍事のプロから見れば水上艦艇はプラモデルのような格好の標的になるんです(笑)。しかし東南アジアの無知なオジサンから見れば大きな軍艦はワーッと驚きを与えますね。それが心理作戦なのです。

中共が軍艦に拘るのは心理的なものであり、海自と第七艦隊のいい標的ですよ。その辺の駆け引きをどうするかですよ。それから、航空戦も、どこを飛んで、何をしているのか誰も知らない訳です。知っているのはレーダーだけです。航空兵力の評価は平時の訓練・パイロットの飛行時間などプロの比較をし、更にそれを支える整備がどのくらいかの確率での稼働能力があるかですよ。



山本安正氏

す(佐藤氏、机を叩いて怒る)。政府は海上保安庁に断面上陸阻止を命令すればいいんです。それなのに、あの時の総理は海上保安庁に手を出すな、と言つたんです。山本君は逃がせと言われたけれど。
今度はホンコンと台湾空軍のOBがヘリコプターで来て聞いたので、私は部下に「侵犯したならば撃墜も辞せず」と命じました。ところが上から武器を使つなと言つてきたので、武器使用の権限は私に与えられている、それなら文書で指示してくれ、と言つたんです。来ませんでしたがね。私はE2Cとフラントムに常時、警戒飛行を命じ、意図的に向つた、特に中共のレーダーに映るようには飛ばしました。私の断固阻止すると言つて意図は伝わり中止になりました。(注：この命令を知る人ぞ知る有名な挿話だが、巷間に流布されてない。撃墜した場合、佐藤提督は首になつたであろうが世界の軍人は佐藤氏に拍手喝采したであろう事は想像に難くない。世界中で嘲笑されるのは日本政府である)。
司会：佐藤さんの対外的アナウンス効果は大きく日本国民として嬉しいです。そこでシーレーンを護る為には我が国はどのような海軍力、空軍力が必要でしょうか。

山本：一般的には反対の減私奉公私でしょうな。
司会：佐々木さん、村田さん、陸の発言が少いのですが、この点はどうですか。
佐々木：若い人達ね、今度のオリンピックを觀つても誰に強制される訳でもなく丸を振つて居ますね。日本は国旗を持つて応援している国はないように思つます。だから本質的には大きな変化は無いと考へます。
司会：歩兵団長どうですか。
村田：イヤ、高原・東ティモールに陸は行つていますが、海も空もですが、彼等の働きを見て居ると持つて居るんじゃないですか。

■日本の防衛防衛白書の幹旋販売について
日本の防衛(防衛白書 平成十六年版 定価一、二〇〇円(税込)の幹旋販売を行います。
本書は、「写真で見る防衛庁・自衛隊五十年の歩み」、「装備の変遷」をカラーページで綴つた例年とは異なる永久保存版の内容です。
また、イラクへの部隊派遣、事態対処法制、防衛庁・自衛隊の将来のあり方などについても詳しく説明してあります。
・ 会員幹旋価格 一、〇〇〇円(税込)
・ 送料 一部 三百十五円(一部以上五〇〇円)
詳しくは事務局へお問い合わせ願います。

国家意思を持つて

平賀：必要な兵力とは、その目的に対してケースバイケースですから一概に言えませんね。要は日本の国家意思なんです。例えば、一九八二年のフォークランド紛争、この時、イギリスから七千マイルも離れた英国領のフォークランド諸島にサッチャー首相は「我が国の領土は寸土たりとも他国に渡さない」との強い意思で軍隊を送つたのです。これが国家の意思なんです。だから尖閣の問題も日本がどの程度の兵力を持つては無く日本の意思、政府の決意が大事なんです。山本君が撃つと政府から言われたように、日本の政治家の決断力ですよ。
どんなに強力な戦力があつても国家意思がなければ絵に書いた餅に等しいです。新川さんの不安は判らないでもないが日本の国防は日米安保によって構築されているので、この前提では怖いものはないですよ。
司会：私の認識は日米安保は片務条約ですよ。モンテールのような大使が出ると本当に日米安保は発動するかと国民は疑問に思つます。ところで我々は戦前に生れ減私奉公の気持ちを持つて居ますが、今の若い隊員はどうですか。

減私奉公はあるのか

山本：一般的には反対の減私奉公私でしょうな。
司会：佐々木さん、村田さん、陸の発言が少いのですが、この点はどうですか。
佐々木：若い人達ね、今度のオリンピックを觀つても誰に強制される訳でもなく丸を振つて居ますね。日本は国旗を持つて応援している国はないように思つます。だから本質的には大きな変化は無いと考へます。
司会：歩兵団長どうですか。
村田：イヤ、高原・東ティモールに陸は行つて居ますが、海も空もですが、彼等の働きを見て居ると持つて居るんじゃないですか。

2面から

.....私が減私奉公を持ち出したのは、イラクに派遣された隊員は高給を貰っている週刊誌などで報道されているからです。日給三万円とか、参カ月の勤務で「ドクラーザー」を購入などの報道に国民は反感を感じて来るとは思いません。また米軍の兵士と較べて、検証した訳ではありませんが、あまりにも高いと言ふ事は、彼等との連携プレーにも影響するのではないかと思ふかです。勿論、戦時加算は必要ですが。

政府も訓練中

司会...この度、防衛七法が成立しましたが罰則がありません。罰則の無い法律が通用するのでしょうか。山本さん、軍法のないのは軍隊ではないと言つてしましたね。山本...これだけ海外に出て行くようになってね、本場の軍隊にしなれば隊員が可哀想ですよ、一緒に行動する他国の軍にも申し訳ないですよ。

佐藤...自衛官は苦勞してやりますよ。あれは国民の宝ですよ、今でも手足を縛られて行動しているんですからね。山本...制服は色々な訓練をして、多様な事態に対応できるようにした来たが、政府は今、色々なケースを経験し訓練している段階ではないですかね。司会...政府がですか。

山本...うん、さう、だって日米協同と言つたって制服は協同訓練を長年やって来ているが戦争指導の政治レベルではなされてないですよ。

司会...しかし、海上自衛隊は第七艦隊の補完部隊となつていて、海軍としては半端じゃありませんか。山本...当初は、バランスある海軍を作つたのを足したんですよ。Y委員会のメンバー十名のうち八名が海軍出身ですよ。これは明らかにスモールネイビーを目指したものです。ただ政治的要因によって今日の姿になったものですよ。

司会...政治的要因を抜きにして、純軍事的に对中国戦を考えた場合の軍力はどのようになるのでしょうか。山本...それは攻防両方兼ねなければなりません。航空自衛隊と海上自衛隊がいくら仲良くても、いくら通信が発達しても、海上自衛隊が危ない、戦闘機を回してくれと言つて航空自衛隊の戦闘機がタイミングよく来てくれるとは、私には思えないですね。海上自衛隊独自で攻防両方の兵力を持つ必要があります。

我が空軍は自爆攻撃も辞さず

攻撃も辞さず

佐藤...そのとおりですよ。エリアによってはやりませんが、いびつな自衛隊なんです。山本君が言ったようにバランスの良い攻防を備えて初めて戦える軍隊になるんです。平賀君が言ったように国家意思なんです。この国をどう守るかを明確にすれば必ずと答えは出てくる。相手のミサイル基地も叩けないような、足の短い戦闘機や、空中給油装置をわざわざ外す等の馬鹿な事をやってきました。

その馬鹿な代議士の質問に総理が「専守防衛が本旨だが、ミサイルを撃ち、まれに防衛が出来るので、相手のミサイル発射の策源地を攻撃する事は憲法の範囲内だ」と昭和

三二年に国会答弁しています。唯一の救いは、この昔の総理の答弁ですよ。そこで爆撃機を持ちましょうかと問えば、イヤそれは出来ないと言つたんです。

陸・海・空の教範にも攻撃の項目はないでしょう。航空自衛隊の戦術教範にも航空攻撃の項目はないのです。侵攻と言ふ文言・攻撃という言葉が一切ないのです。

今頃になって国民から北朝鮮を攻めるのは航空自衛隊だろう、と言われるが、それはできませんよ。足の短い戦闘機で爆撃装置もないのです。これは現役のパイロットにとつて物凄く屈辱ですよ。しかし攻撃命令が下れば、彼等は全員手を挙げて志願しますよ。ただ足が短いから帰りの燃料がありません、韓国も給油に降ろしてくれませんか、彼等は海上に不時着する事になるのです。そこで、パイロット達は何を言つたかと言つて、助けて貰うために島根県の漁業組合のイカ



平賀源太郎氏

日本陸軍の強精度

佐藤...サマワの自衛隊はオランダ軍に守つて貰つていて、云つても、その規律は厳正で車の並べ方もインテリゲンチであり、参加三十カ国が驚異の目で見ているんですよ。僕はイラクは軍隊のオリオンピクドと考へていますよ。日本は銅メダルですよ。タントツの金メダルはアメリカで、イギリスは銀メダルですよ。韓国なんか何千人行つたつて、あんな三流政府では問題にならない。

司会...いま佐藤さんが韓国軍について発言されましたが、練度について佐々木さんどう思いますか。佐々木...一つの例ですが、陸の高射特科部隊はホークミサイルの実射訓練をアメリカで実施して来ましたが、日本は上点満点で九百五十点から八十点くらい取りますが、韓国や西独アメリカは九百点くらいでした。中東諸国は八百点くらいです。限られた領域での判断ですが陸の場合、点数で表せば、それだけの練度、士気を持っていると思ひます。

韓国空軍とイギリスの空白

韓国空軍と

佐藤...空軍の場合、アメリカは対地攻撃の新しい器材を韓国に与えていますね。それと韓国は臨戦体制ですから実弾を積んで飛んでいますね。これだけは日本は負けたと思ひましたね。日本は勿体ないと言ふミサイルを使っていますからね。

佐々木...勿体ないではなく、持たせられないでしょう。佐藤...それもあります。空軍はかなりの練度をもっていますよ。我が国では実弾を使う事は余程の事が無い限りありませんが、韓国は常時、実弾を積んでいますからね。この実戦配

釣舟に頼んでくれと言つたのです。物凄くギョクですよ。そんな状況ですが現役のパイロット達は被弾したら相手のミサイル基地に体当たり自爆攻撃を敢行する、と言っていますよ。司会...佐々木さんどうですか。佐々木...やっぱりね、日本人を外に出すことです。私もイギリスに一年間留学させて貰つて人生観が変わりましたよ。軍人とはカーネルとは、どのようなかをキッチリと教へてもらいましたよ。オリオンピクドでも自分のお金でドンドン若いな達が応援に行つていて、彼等も世界の常識が解つてきますよ。若者の間からも憲法改正という方向に向かうと思つたのです。



佐藤守氏

私の所属した連隊からもイラクのサマワに四名行きました。祝賀会場の立ち話でしたがね、彼等は驚愕したのです。四時間の不寝番をローテーションを組んでやるんですよ。

悔蔑を受けても抗議しない外務大臣

抗議しない

司会...佐藤さんが李ラインによって愛国心が芽ばえたとおっしゃいましたが私もそうです。鳥取県ですから。連日のように漁船の拿捕が報道されていて、朝鮮と戦争になったら一番に志願しようと思つていましたよ。平賀...その様な事件があつて愛国心が育つのでしょうか。それが無かつたら外敵に反発する意欲も今の日本では湧かなくなつたんじゃないですか。だから憲法改正と言っても国民に危機意識は出ませんよ。佐藤...だがね、外圧に期待する、国民性に期待すると言つ

佐藤...ノムヒョンが北のシンパですから、ないですね。ヨソ様なんて映画を見て、日本のオバタリアンが喜んでるから、これも立派な対日戦略ですよ。司会...核を持った統一朝鮮の出現が日本にとって最悪のシナリオだと、山本さん、言つてましたね。韓国海軍はどうですか。山本...今は問題ないけど、注意は必要ですよ。平賀...彼等の戦艦は常に北に向かっていましたからね、パラスのある海軍と言ふ事で潜水艦を持っていますが製造能力はありますが、造船能力はあるからソックタン方式でヨーロッパから入れています。発展途上の潜水艦部隊ですよ。しかし最近、対北戦略が曖昧になって来ましたからね、これが南に向いて来た時、日本はどう対応するんですか。司会...新任の艦長は竹島を一周して潜水艦から写真を撮るが最初の仕事と聞きますが、今でもそうですか。平賀...現状は知りませんが、たゞ、この国の潜水艦も偵察行動はやっていきますよ。司会...潜水艦などの軍事機密は聞きませんから(全員爆笑)差し障りはないかと。

平賀...ひとつ宣伝させて貰つと、今の潜水艦は対地攻撃能力を非常に高めました。湾岸戦争でもそうでしたが、今度のイラク戦争でアメリカは八百発のトマホークを撃ちましたが、その内の二百発くらいは潜水艦からです。今は対地攻撃ですよ。だから潜水艦は極めて有効な攻撃兵器ですよ。どこから射つてくるか判りませんがね、我が国の潜水艦もトマホークを積めるようにすれば、今はハブーンを積んでいますからね。これで艦船攻撃、陸上基地攻撃はできますからね。司会...山本さん、見栄えは悪くとも、攻守の揃つた海軍と言

てね、あくまで願望であつた。今、我が国が世界のナンバーストとして二世紀をどうのよう生きて行くかを考える時、直ちに取掛かるべきは基礎となる法整備ですよ。その基礎が憲法であるのは皆、解つて来ていますよ。このような法整備がなされて、その上に日本国民の特性が発揮されたら、それは世界一ですよ。平賀...だれでも、憲法改正には国民の意識が要るでしょう。その為にはどうするかでしょう。佐藤...その為には日本人には外圧が必要じゃないかと思つた。平賀...あの外務大臣を見てみなさい、どんな外圧がきても知らん顔しているよ。司会...川口順子さんも同級生でございしますが(全員大笑い)。佐藤...恥ずかしいな(全員大笑い)。司会...平賀さんと佐藤さんの議論の結論は憲法改正が必要であること(全員大笑い)。ところで平賀さん、我が国の仮想敵国はどのが良いでしょうか(全員爆笑)。平賀...どのが良いかと言われてもねえ(全員爆笑)。佐藤...相手にも事情があるよな(笑い)。司会...山本さん、日本はどを仮想敵国として居るのですか。山本...我が国として、武力を手段としてやられては困ること例え海上交通路の遮断や領土の侵害、空からの攻撃による破壊等々出来る武力を持っている国が対象国と先ずなりませう。次にそのうちから、国際環境や二国間関係などから我が国に対し敵対的傾向が強い国、いわば武力攻撃発生の蓋然性が高い国を当面の、いわば仮想敵国とすることになるかと

陸上自衛隊・伊丹駐屯地
中部方面隊44周年創立記念
* 10月3日・10時30分開会
* 観閲式・展示訓練など
* 場所・伊丹市緑ヶ丘7-1-1
* 電話・072-782-0001
* 阪急電車伊丹駅よりJR東西線伊丹駅より送迎バスあり(無料)
詳細は広報室へお問い合わせ下さい

陸上自衛隊・八尾駐屯地
中部方面航空隊42周年創立記念
* 10月17日(日)・10時開会
* 観閲式・展示飛行など
* 場所・八尾市空港1-81
* 電話・0729-49-5131
* JR大和路線・紀志駅下車・徒歩約10分
詳細は広報室へお問い合わせ下さい

り話が弾んだが、オフロコとします。(文責・新川)

第一に懐く疑問は、なぜ「武士道」では無いのか、と云うものだろう。自衛隊一軍隊一武士道、という風に我々の思考は短絡しがちだ。

「武士道」ではなく、い

まず一般庶民の心性や道徳の重視が挙げられる。これまで「日本道徳」とい

言葉が返ってくるのが普通だった。たとえば李登輝さん

「武士道論」がそれだ。だがよく考えてみるのに、

武士道論は普通は西欧の人々に対して、日本に独自の道徳・倫理のあることを説くものだった。そこには当然論理の偏り

「過ちとまで

は言えないにしても、が生じるに相違ない。

も一つ、戦後の日本人は、占領軍の思想強制や連風の左翼思想の跋扈などに影響されて、今ではそれが日本人の国民道徳と呼ぶことが難しい、そういう批判もできるだろう。ほぼこ

のよう反省に基づいて、庶民の心性・道徳を全面に押し出そうとしていると考えられる。注意しておかねばならないのは、ここで「庶民」と称するものは、何らかの程度においていた

えは「庶民だから知性に乏しい」というような「そう呼ぶものではない、と云うことである。イラクにおける自衛隊の超人的と見える活動を、現地の過酷な環境と対比してみよう。それは日本人の示す能力の極限をゆくものと考えられよう。

日本の庶民の本来もつそのような心性・道徳がその

イラク派遣自衛隊

清・白露の運かな、しかし喜ばしい記憶を、イラクの人々に呼び戻しつつある様子だ。それらの戦争が欧米の帝国主義に対する「非欧米」の、アジア人による最初の打撃だったことを...

わば「庶民道」、その主張は、旧軍人の大東亜戦争論にありがちな美化に「ノー」を突きつける。それも旧軍人を育てあげた学校制から全く切れた所から自衛隊が発足したからこそ、可能だったのではないかと云う。

「私は、今回の任務に臨む心構えのひとつを『義理・人情・浪花節』と表現して活動している事実を、

「私は、今回の任務に臨む心構えのひとつを『義理・人情・浪花節』と表現して活動している事実を、

「私は、今回の任務に臨む心構えのひとつを『義理・人情・浪花節』と表現して活動している事実を、

義理・人情・浪花節は

相談役 鈴木満男(東京大学社会学博士)

あの特攻である。あの時期、その狙いだった。さて、自衛隊のイラクに送られる兵士たちが、特攻おける苦心経営の数々が、現在、我々は容易に知る事ができるようになった。

「『イスラムでは原則、飲酒は禁止されています。』とくにサマーワは敬虔なムスリムが多い地域ですから、ア派が多い地域ですから、今回の派遣では、宿営地でもアルコール類は一切飲まないように指導しています。見事だ、という他は、追記

「サマーワに近づくと、道行く現地の人々が手を振ってくれます。外国人が珍しいのかと思つたのですが、それは違つていて、彼らは日本の自衛隊だと分か

「武士道」では無いのか、と云うものだろう。自衛隊一軍隊一武士道、という風に我々の思考は短絡しがちだ。

「武士道」ではなく、い

まず一般庶民の心性や道徳の重視が挙げられる。これまで「日本道徳」とい

言葉が返ってくるのが普通だった。たとえば李登輝さん

「武士道論」がそれだ。だがよく考えてみるのに、

武士道論は普通は西欧の人々に対して、日本に独自の道徳・倫理のあることを説くものだった。そこには当然論理の偏り

「過ちとまで

は言えないにしても、が生じるに相違ない。

も一つ、戦後の日本人は、占領軍の思想強制や連風の左翼思想の跋扈などに影響されて、今ではそれが日本人の国民道徳と呼ぶことが難しい、そういう批判もできるだろう。ほぼこ

のよう反省に基づいて、庶民の心性・道徳を全面に押し出そうとしていると考えられる。注意しておかねばならないのは、ここで「庶民」と称するものは、何らかの程度においていた

えは「庶民だから知性に乏しい」というような「そう呼ぶものではない、と云うことである。イラクにおける自衛隊の超人的と見える活動を、現地の過酷な環境と対比してみよう。それは日本人の示す能力の極限をゆくものと考えられよう。

日本の庶民の本来もつそのような心性・道徳がその

勲章制度について

の栄典制度の格付けを与えられていた旧軍や他国の軍隊(叙勲規則は軍に比べては軍が決められている)と比較して格付けが低い。

自衛官の地位は特別職国家公務員であり、他の公務員と横並びで格付けされた。後輩が我々を前官(授与基準は国)として扱ってくれる事にも感謝しつつ、説明をうけ

自衛官の地位は特別職国家公務員であり、他の公務員と横並びで格付けされた。後輩が我々を前官(授与基準は国)として扱ってくれる事にも感謝しつつ、説明をうけ

自衛官の地位は特別職国家公務員であり、他の公務員と横並びで格付けされた。後輩が我々を前官(授与基準は国)として扱ってくれる事にも感謝しつつ、説明をうけ

自衛官に戦死は存在しない

元統合幕僚学校校長 佐々木英嗣

自衛官には戦死は存在せず、事故死のみが対象である。イラクに關しては、緊急叙勲の適応が考えられるが、殉職以外では前例がなく、可能性はほとんどないと思われる。このことだ。

「武士道」では無いのか、と云うものだろう。自衛隊一軍隊一武士道、という風に我々の思考は短絡しがちだ。

「武士道」ではなく、い

まず一般庶民の心性や道徳の重視が挙げられる。これまで「日本道徳」とい

言葉が返ってくるのが普通だった。たとえば李登輝さん

「武士道論」がそれだ。だがよく考えてみるのに、

武士道論は普通は西欧の人々に対して、日本に独自の道徳・倫理のあることを説くものだった。そこには当然論理の偏り

「過ちとまで

は言えないにしても、为生じるに相違ない。

も一つ、戦後の日本人は、占領軍の思想強制や連風の左翼思想の跋扈などに影響されて、今ではそれが日本人の国民道徳と呼ぶことが難しい、そういう批判もできるだろう。ほぼこ

のよう反省に基づいて、庶民の心性・道徳を全面に押し出そうとしていると考えられる。注意しておかねばならないのは、ここで「庶民」と称するものは、何らかの程度においていた

えは「庶民だから知性に乏しい」というような「そう呼ぶものではない、と云うことである。イラクにおける自衛隊の超人的と見える活動を、現地の過酷な環境と対比してみよう。それは日本人の示す能力の極限をゆくものと考えられよう。

日本の庶民の本来もつそのような心性・道徳がその



航空自衛隊小松基地で行われた航空祭で関係会参加者 (平成16年9月19日)

編集後記

*国防放談会に出席頂いた将軍、提督の風貌・体型・専門・思考を考察して大東亜戦争を指揮した帝国陸海軍の軍人とオーバーラップさせ、人物月旦を試みると感慨深いものがある。時代が回転していれば彼らが戦争・戦闘指揮を執っていたであろうと考える故に。

村田旅団長はさしずめ体格、風貌が相似のインパール作戦で困難な殿(しんがり)を見事に努めた宮崎繁三郎中将か、岐阜県同郷でもある。など録音テープを筆記しながら連想して、名著『大海軍を想う』を著わした伊藤正徳氏の心境にチョッピリ浸った。

彼らはいずれも旧帝国大学の入試をクリアする頭脳

死んでたまるか!!

田幸教授(琉球大)開発の特許商品!!
沖縄モズクと北海道産真昆布がニアジの純粋フコイタンをダブルで配合!!

ガン・糖尿病など成人病が気になる方に...

Fucoidan Z
フコイタンゼスト

【フコイタンZ】150粒(25~50日分)25,000円
お徳用350粒入り150,000円もあります。

Beauty Health Laboratory
ビー・エイチ・ラボ
〒553-0006 大阪市福島区吉野4-27-12
TEL(06)6462-5820 FAX(06)6462-5824
携帯・PC共通 http://bh-labo.net

自衛隊広報紙

広告掲載企業募集

第3師団広報紙 錦 城
第10師団広報紙 金 やましろ
第4施設団広報紙 やましろ
第13旅団広報紙 みつや

自衛隊「広報室」編集広報紙取扱
株式会社 若鳩

本社
〒570-0032大阪府守口市菊水2-19-1菊水第二ビル
TEL(06)6993-0099

支社
〒530-0015大阪府大阪市北区中崎西1-1-6吉村ビル
TEL(06)6374-1721

それにしても、吉田茂総理は慧眼だ。再軍備にあたり帝国陸海軍相剋の弊をなすため、新国軍の士官は同じ学校で教育する、この方針は今日、成功したと考える。

*鈴木満男博士は海軍経理学校出身だが軍事には疎いところがあつた(失礼)。

博士の専門の東北アジア民俗学に軍事的考察が加われば鬼に金棒と考えていたが今回、海外派遣部隊に優待をどう件、竜顔に咫尺あればこれは何よりも武人の励みになろう。

叙勲問題は世間の大きな声にならないが緊急かつ大事な問題である。それに対して痛憤を伴う回答を佐々木師団長に頂いた。送付頂いた詳細の資料は小会に有り。

*今回の放談会の会場の提供、呑み会の設定など玉井秀幸飛行学校々長(七期)に大変お世話になった。厚くお礼申し上げます。(新